

THE PANAMA-PACIFIC INTERNATIONAL EXPOSITION

San Francisco, 1915

—1915サンフランシスコ—
パナマ・太平洋万国博覧会

アメリカ史の転換期に催された一大イベントの公式記録
20世紀以降の国際的立場を裏付ける実力の証し



別冊解説・山城 新(琉球大学教授)

Part 1: 『公式記録』全5巻

定価 本体 128,000円+税

ISBN 978-4-86340-225-6・A5判・c. 3070 pp. (incl. 61 col.), ill. ▶2016年9月

Part 2: 日本政府刊行資料 全2巻+別冊解説

定価 本体 54,000円+税

ISBN 978-4-86340-226-3・A5判・c. 1100 pp. (incl. 4 col.), ill. ▶2017年9月予定

Athena Press

—1915サンフランシスコ— パナマ・太平洋万国博覧会

1915年の万国博はただパナマ運河開通を記念して行われたというだけではなく、それ以上の意味を持っていた。サンフランシスコ地震(1906年4月18日)による被害からの復興を祝し、カリフォルニアとアメリカ西部の重要性を強力に主張し、アメリカの関心を太平洋地域と南アメリカへと向かわせたものだった。第一次世界大戦が勃発したにもかかわらず、従来からある楽観的な見解を抱き、それを持ち続けていたアメリカ社会全体の風潮の典型であった。そして、そうした社会全体に存在した無垢な楽天的気分のもとで行われたイベントとして、おそらく最後のものではあった。

——バートン・ベネディクト



Contents

Part 1

The Story of the Exposition: Being the Official History of the International Celebration Held at San Francisco in 1915 to Commemorate the Discovery of the Pacific Ocean and the Construction of the Panama Canal by Frank Morton Todd (1921) 5 vols

Topics include: Panama • The Exposition Idea • Representing California • Getting Ready for the Joy Zone • A City to Order • Coloring a City • A Sculpture Factory • Rallying Patriotism • The Propaganda Division • Management of Athletics • On the Eve of War • Exposition Entertainment • The Work of the Woman's Board • Along the Zone • Nine and a Half Months of Music • Special Events • The Liberty Bell Arrives • Transcontinental Motoring • Miner's Week • A Long Season of Sports • In the Gardens of Japan • A Summer Palace of Siam • The Forbidden City • Progress of the Philippines • The Palace of Fine Arts • Reforming the Environment • Conveniences of Life and Industry • Electric Propulsion • Machine Farming • Congresses, Conferences, Conventions • The Market Place of Ideas • Social Progress • The Women's Congress of Missions • Advances in Medicine • Safe Milk • Nursing • Historians of the Pacific Area • The Last Day and Night • Appendix • Index

Part 2

Japan and Her Exhibits at the Panama-Pacific International Exhibition, 1915, prepared by Haku-rankwai Kyokwai (Société des Expositions) (1915)

Government Organization of the Imperial Japanese Commission • Institutions and Economic Conditions • Exhibits in Various Departments • Tourist's Itinerary • Index to Exhibitors • Advertisements

Japan As It Is, compiled by H.I.J.M.'s Commission to the Panama-Pacific International Exposition, San Francisco, 1915 (1915)

Geography • Population • Outline of History • Constitution and Administrative System • Agriculture • Forestry • Mining • Fisheries • Industry • Protection of Industrial Property • Commerce • Foreign Trade • Banking and Money Market • Finance • Army • Navy • Communications • Education • Taiwan • Chosen • Karafuto • Kwantung Province



■本書について

パナマ・太平洋万国博覧会は、1915年2月20日から同年12月4日までの期間、サンフランシスコのプレシディオとフォートメイスンの間の湾岸エリア、現在ではマリーナ地区として知られる場所で開催されました。1900万人近くの来場者があり、莫大な利益を生んで大成功を収めています。第一次世界大戦中の開催で、ドイツとイギリスはともに参加しないことを取り決めたものの、フランスやベルギーのような戦争で荒廃した国々からの参加もありました。中国と日本も参加をしており、ともにかなりの貢献を果たしました。

博覧会場は革新的なデザインとレイアウトに大きな特徴がありました。色彩計画、照明、造園を総合的に構成して全体の調和をとり、会場内のいたるところに寓意的な彫刻や壁画が精巧に施されました。際立った建造物にはTower of Jewels、Palace of Fine Arts、Palace of Machineryがあり、彫刻では*The End of the Trail*がよく知られています。

博覧会の主要な娯楽エリアJoy Zoneでは、通常こうしたイベントで一般的なエンターテイメントやエスニックショーのほか、可動式のパナマ運河の模型や、イエローストーン公園やグランドキャニオンのジオラマの出

展などがありました。

注目すべき技術展示では、1日18台のT型フォードを組み立てるフォード社の自動車生産ライン、初の大衆横断電話ケーブル、飛行実演、アンダーウッド社の巨大なタイプライター、イーストマン・コダック社のカラー写真、ジェネラル・エレクトリクス社の電化住宅がありました。

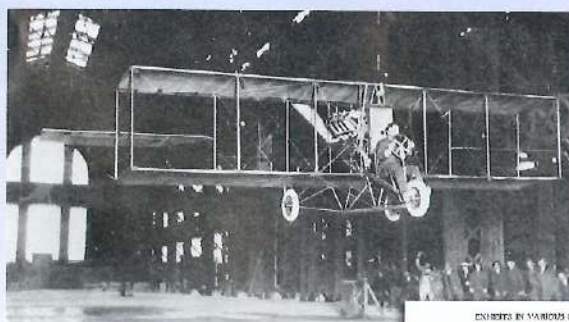
パナマ・太平洋万国博覧会は、第一次世界大戦参戦前夜にあってアメリカ史の鍵となる瞬間と分析されてきた事象です。こののちの国際的立場を裏付ける、帝国主義国家、進歩主義国家、また技術の先進国としての存在を象徴的に現した催しであったと考えられているのです。

Part 1は、ジャーナリストのフランク・モント・トッドによる全5巻の「公式記録」復刻です。この万博についての最も詳細な一次資料として群を抜くものであり、600枚近くの写真が含まれています。(原本90%縮小)

Part 2は補遺的な資料です。当万博に参加する日本政府の委員会が1915年に英文で出版した2タイトルを扱います。

*Japan and Her Exhibits*は主に国際見本市会場で日本の出展と出展者のカタログで、併せて全国の風景の紹介も載せています。(原本105%拡大)

*Japan As It Is*は日本が現代的な国家であると説明することを第一としたもので、20世紀初頭における日本の政治、社会、経済、植民地についての詳しい情報を示しているものです。(原本92%縮小)



パナマ・太平洋万国博覧会とその意義について

山里 勝己●名城大学長／山城 新●琉球大学教授

パナマ・太平洋万国博覧会(Panama-Pacific International Exposition)は、1915年2月20日から12月4日までアメリカ合衆国カリフォルニア州サンフランシスコで開催された。19世紀には欧米の主要都市を中心に既に多くの国際博覧会が開催されていた。アメリカでは、サンフランシスコ以前に、ニューヨーク(1853年)フィラデルフィア(1876年)、シカゴ(1893年)などの主要都市ですでに博覧会が開催されていた。東部への入植、西部へのユーロアメリカ人の進出、大陸横断鉄道の建設、カリフォルニアのゴールドラッシュを経た「フロンティアの消滅」後のアメリカで、「太平洋」という新たな「フロンティア」のイメージを冠しつつ大陸西部沿岸で開催された博覧会は、これ以降アメリカ西漸運動が太平洋へとダイナミックに浸透し拡大されていくグローバルな方向性を既に示していた。



当然ながら、パナマ・太平洋万国博覧会は、リージョナルなイベントであると同時にインターナショナルなスペクタクルとしても企図されていた。1906年にサンフランシスコを襲った大地震と火災により、西部の主要都市サンフランシスコは多くの死者(およそ3千人余)を出していた。そのような背景もあって、この博覧会開催の趣旨として、被災した都市(リージョン)の復興を願ひ、また、同時に最新の産業技術や世界文化・芸術の祭典を企画しながら都市再建に貢献するという「インターナショナル」なヴィジョンも喧伝された。「パナマ・太平洋万国博覧会」の英語名で「パナマ」と「太平洋」(“Panama-Pacific”)をつないでいるハイフン(-)は、図像的には水路を表象するものとして読める。10年の歳月をかけて1914年に開通したパナマ運河は、南北アメリカ大陸を繋ぐパナマ地峡を水路で横断することを可能にした。実際に、パナマ運河開通前には、パナマ地峡鉄道が1855年

に既に開通していて、初の大陸間横断鉄道としてゴールドラッシュを支えたが、水路が新たに開通することによって、“Panama-Pacific”(パナマ・太平洋)はまさに空間的に繋がることになった。「パナマ・太平洋万国博覧会」の字義どおり、一体化されたリージョナルとインターナショナルな空間が出現したのである。

この博覧会が、20世紀冒頭に有した(あるいは21世紀に繋がる)地政学的な意味も忘れてはいけなだろう。歴史家デーヴィッド・マカルー(David McCullough)は1977年の全米図書賞受賞作である*The Path Between the Seas: The Creation of the Panama Canal, 1870-1914*の中でパナマ運河の建設について“human drama not unlike that of war”と表現した。多大な労力と時間と資本を費やした建設プロジェクトは、マカルーが比喩的に表現するように多くの犠牲を伴う“war”のごとき様相を呈していた。アメリカ合衆国はまだ参戦はしていなかったが、既にヨーロッパでは第一次世界大戦が進行中であり、1898年にアメリカ(マッキンリー大統領)はスペインとの戦争の結果、プエルトリコ、フィリピン、グアムを領土として獲得した。また、ほぼ同時期に、独立を求めたフィリピン武装民兵との紛争に関与したりするなど、19世紀末のアメリカの覇権主義は確実に南米と太平洋で存在感を増していた。20世紀から21世紀にかけての太平洋地域におけるアメリカの圧倒的なプレゼンスを考える時、パナマ・太平洋万国博覧会は多くの示唆を与えてくれるだろう。

万国博覧会については、時代の実相を示す産業技術やグローバルな物流・文化交流の国家的(帝国主義的)祭典として、文化史、産業史、科学技術史、都市計画、ジェンダー、人種問題、あるいは欧米近代の植民地主義を批判する観点から論じられてきた。今回アティーナ・プレスから刊行されるパナマ・太平洋万国博覧会を中心とする第一次史料は、アメリカ西部地域で開催された博覧会について、まずはアメリカ社会のリージョナルな実相を示す具体的な事例として捉え、当時のアメリカ社会や文化の有り様を検証することができるだろう。更に当時の文脈を超えつつ、博覧会を通して展開された文化交流のありようを批判的に検討し、21世紀的課題を当時の状況と遡及的に比較することもできるだろう。

そうすることによって、われわれが今後グローバリズムをどのように分析・理解し、グローバル化する世界とどのように向き合えばよいかということが見えてくるにちがいない。さらに、本資料群には、日本政府や日本文化の博覧会への関わり、あるいは20世紀日本のツーリズムの端緒をうかがい知るための史料・資料も含まれており、博覧会を契機に広がるとされる「ジャポニスム」を比較文化的に考察することもできるようになっている。

日米関係史を含むアメリカ史、アメリカ文化・文学研究において、21世紀を展望するための貴重な資料群である。

【発行】

Athena Press

株式会社 アティーナ・プレス



〒112-0011 東京都文京区千石4-33-18

Tel: 03(3946)2117 Fax: 03(5977)8026

E-mail: eigyo@athena-press.co.jp

http://www.athena-press.co.jp

【取扱書店】